

中央区議会議員

わたなべ恵子  
KEIKO WATANABE

防災対策

アプリや  
SNSを活用

まちづくり

健康長寿施策

晴海選手村跡地について

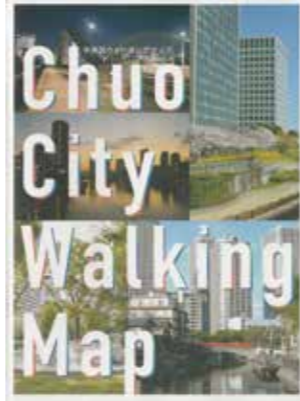
Q これまで更地だったところに大きなまちが出来上がることから、転入してきた地域住民の自治力によって、自分たちの未来のまちを、自分たちで築き上げていく地域自治力強化の方向性、また、ドイツ型スポーツクラブのように、子育て世代から高齢者まで誰もが集まれる拠点を作ること、互いの交流や助け合いができる場を作ることについて、神奈川県のある藤沢サスティナブルシティのような先進事例を参考にした住民参加型のまちづくりについて。

A 平成30年、ほっとプラザ晴海を拠点にした、地域住民による拠点の方向性を、「晴海ビジョン検討会」で検討開始。推進中

平成29年第三回区議会定例会《健康長寿施策》

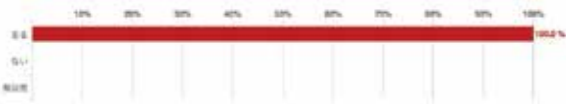
Q 東京都健康長寿医療センター研究所が15年に渡り実施していた群馬県中之条町の研究結果をもとに、1日8000歩、そのうち20分早歩きをすることが、生活習慣病を予防し、長寿遺伝子サーチュイン酵素を作るスイッチが入ることが証明されている。今後、65歳以上を支える生産年齢人口世代が減少に転じていく中、生涯健康であることは、区民の生活の質を担保するには必要。東京2020大会の選手村を晴海に迎える中央区が大会レガシーとして、区民にウォーキングを推奨していくことは？

A 平成30年度3月、中央区は区内9コースのウォーキングマップを作成。実現



わたなべ恵子は独自に産後ケアアンケートを実施致しました。

Q1. 産後に支援がほしいと思ったことはありますか？



佃の道路亀裂を修正して頂きました

2017年4月23日  
「子どもの口唇口蓋裂における医療的ケアの現状等について  
・医療的ケア児の更なる支援を！」第14回永田町子ども未来会議（東京都）

新島橋に手すりをつけました



・毎日フォーラム2018年5月号  
「議員提案」～区民の声を行政に届け形にしていこう政治を目指す～

銀座三原橋交差点の点字ブロックを新たに敷き直してもらいました



・日経グローバル2017年1月2日号  
「奮闘地方議員」

中央区  
未来の

創  
る  
も  
と  
に



防災対策・子育て支援

平成23年初当選  
現在2期目

立憲民主党  
The Constitutional Democratic Party of Japan

プロフィール

昭和女子大学附属昭和小、中、高校卒。平成元年、獨協大学経済学部経済学科（企業会計・経営分析専攻）卒業。野村證券株式会社に勤務。当時、女性では珍しかった、法人・職域営業を行う。その後、英国に四年在住。豊洲市場の仲卸業を営む父親の跡を継ぎ現在二代目。産業カウンセラーとして自死遺族やメンタル不全にカウンセリングを行っている。所属委員会 区民文教委員会 防災等安全対策特別委員会

<http://watanabekeiko.jp/>

わたなべ恵子 検索

